

第九回

医療福祉を愛する人たち

通う時も笑顔で、卒業してもずっと笑顔で

一人ひとりの人生に、丁寧に関わっていくことを大切に――

スマイルキャンパス☆さつまさん 代表理事

小園洋和さん



社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の他、訪問型ジョブコーチの資格を持つ福祉のエキスパート。柔和な笑顔にたくさんの人が励まされている。

第九回は、鹿児島県薩摩川内市で福祉事業所を運営する、小園洋和さんをご紹介します。

――これまでの仕事、現在の仕事、精神医療保健に関わるようになった経緯を教えてください。

高等専門学校を卒業後、エンジニアとして働いていました。二十代半ば頃から、将来は独立して仕事がしたいと思いはじめ、そのためには営業力が必要だとIT業界に転身し、営業職を学びまし

た。その後、三十歳を前に、家族の都合で帰鹿することになり、建設業の営業職に就いていましたが、取引先の社長から特別養護老人ホームの仕事を勧められ、畑違いの福祉業界に入ることになりました。三十一歳の時です。福祉の世界に入るならその道を究めたいと、働きながら通信制の大学や専門学校に通い、三福祉士（社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士）の資格を取得しました。

小園さんのこれまでの歩み

一九七七年	熊本県水俣市生まれ。生後四カ月で父の実家、鹿児島県出水市に転居。
一九九八年	国立八代工業高等学校卒業後に上京し、エンジニアとして五年半勤務。
二〇〇三年	IT企業の営業職として勤務。
二〇〇九年	高齢者福祉施設へ就職。福祉の世界に入る。
二〇一一年	障害者福祉施設へ就職。生活支援員として利用者様と日々向き合う。
二〇一七年	スマイルキャンパス☆さつまさん代表理事として起業。現在に至る。

高齢者福祉施設を経験した後は、障害者支援施設にご縁があり、五年半の間、生活支援員として日勤・夜勤を行いながら障がい福祉の基礎を学びました。その間、自分で立ち上げる事業は何かよいか探していたところ、当時は障がいのある方が一般企業への就職を目指すことを支援する事業所が少ない現状を知り、私なら一般企業も、福祉の経験もあると思いつき、「スマイルキャンパス☆さつまさん」(以下、スマキャン)を七年前に立ち上げました。スマキャンは、福祉型のビジネススクールというコンセプトで、障がいのある方に学校形式で生活面、就労面やメンタル面の知識や技能をお伝えする就労移行支援・生活訓練の事業所です。(障がい者ビジネススクール)として、熊本、佐賀、金沢に姉妹校があります)

――仕事のやりがいを感じるのとはどんな時ですか。

大事にしているのは、「通う時も笑顔で、卒業してもずっと笑顔で」を基本理念として、一人ひと

りの人生に丁寧に関わっていくことです。時として、責任の重さを感じる場面もありますが、その人の人生が良くなっていくことを思い描き、楽しみながらやっています。自分が関わった方が元気になったり、就職後に遊びに来てくれたりするとやっぱりうれしいですよ。そのために全身全霊をかけ、耳の痛い話も含めて、本気で受講生の皆さんと向き合います。卒業生の方たちを見ると、あの時しっかりと向き合ってたなあと思うことがたくさんあります。

——仕事上で勉強になった良い経験を教えてください。

以前、就労移行支援を一年半利用された男性で、一年おきの転職を何度も繰り返したり、昼間から街中でビールを飲み、問題を起こしたりする方がいました。どこか世の中を斜めに見て自暴自棄になっていたその方と、私は真正面から向き合い、何度も何度も相談援助を繰り返しました。やがて、その方は、卒業する頃には物事をなんでも感謝で

も大事で、楽しいと思う瞬間です。また、子どもたちとも楽しく触れ合い、私からちょっかいを出してよく怒られています。(笑)

好きな言葉は「敵がいなしと無敵」。無敵とは、最強という意味もありますが、敵をつくらず味方だらけにすること、それこそが最強だと思います。何をすることも、今はこの言葉が座右の銘になっています。

——休日ほどのように過ごしていますか。体を動かすのが好きなので、ジムで走ったり筋トレしたり、美味しいものを食べに行ったりします。「美味しいお店をたくさん知っていてグルメだね」と言われます。だからだら過ぎすのも好きですが、ここ最近は仕事ばかりしているような気がして、少し反省しています。(一;)

——目指す自分像を教えてください。

スマキヤンの仕事は、私の天職であると感じます。とてもやりがいのある仕事です。この活動を

捉えられるようになりました。就職後も人間関係などいろんな問題に直面しながらも、感謝の気持ちを持ち続け、乗り越えていく姿を見ると、人ってこんなに変わるんだということを目の当たりにしました。そして、支援は粘り強く、諦めないことが大事なのだという気持ちにより強まりました。支援者として、経営者として、日々皆さんの失敗もしていますが、失敗ではなく経験として、プラスに認識するようにしています。

——これまでに人から言われた印象に残る言葉、励ましがあれば教えてください。

「小園さんって運がいいよね、ついでるよね」とよく言われます。自分で言うのもなんですが、私は幸運体質だと思います。その時々で自分の周りについてくださる素敵な皆様方に感謝の日々です。

——好きなこと、好きな言葉、モットーを教えてください。

受講生と接している時間は、自分にとってとて

続けつつ、機会があれば、付随するさまざまな事業に取り組み、これからも地域や社会の皆さんのために、何か少しでも多くの良い影響を与え続けられる人になりたいです。

小園洋和さんプロフィール

鹿児島県出水市出身。国立八代工業高等学校卒業後、エンジニアとして大手電機メーカー直系子会社に就職。主に産業用ロボットの修理・保守業務とシステム設計部門に従事。五年半勤めた後に退職し、将来の独立を目指してIT関連の営業職に就く。三十歳を前に、実家の跡継ぎのため帰郷し、老人・障がい者施設にて延べ七年半勤務後、「スマイルキャンパス☆さつませんだい」を設立し、現在に至る。

障がいのある方やお困り事のある方の「自立したい」「働きたい」という夢を現実のものとし、受講生一人ひとりにスポットを当て、受講生の皆様の笑顔を作り、地域社会の発展に貢献し、地域住民に愛される事業所作りをめざす。

会社概要

社名	スマイルキャンパス☆さつませんだい
事業内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業
所在地	鹿児島県薩摩川内市東開間町三一 一階
連絡先	〇九九六―二二―一三五一